

清流高津川いかだ流し大会

第37回清流高津川いかだ流し大会

令和元年（2019年）8月4日（日）

第37回清流高津川いかだ流し大会が8月4日、益田市向横田町の向横田大橋付近から、安富町の西益田大橋付近まで約6.5キロのコースで行われた。市内の職場や地区、学校単位の11チーム89人が晴天の下、趣向を凝らした手作りのいかだで「清流日本一」の復活を願い、環境美化を訴えながら川を下った。

西益田地区連合自治会や益田商工会議所西益田支部などで行く大会実行委員会（田原修会長）が計画。今回は梅雨の影響で水位が下がらなかったため当初予定より一週間遅れで開いた。高津川は国が管理する1級河川を対象にした水質調査で、2010～13年に4年連続で日本一となった。田原修会長（72）は「水に親しむことで自然環境保護、水質浄化について考えてもらえれば幸いだ」と話した。



第37回清流高津川いかだ流し大会が4日、益田市向横田町の向横田大橋付近から、同市安富町の西益田大橋付近まで約6.5キロのコースで行われた。市内の職場や地区、学校単位の11チーム89人が晴天の下、趣向を凝らした手作りのいかだで「清流日本一」の復活を願い、環境美化を訴えながら川を下った。（中山竜一）

手作りいかだで清流下る

益田・11チーム環境美化訴え

清流高津川は国が管理する1級河川を対象にした水質調査で、2010～13年に4年連続で日本一となった。田原修会長は「水に親しむことで自然環境保護、水質浄化について考えてもらえれば幸いだ」と話した。

高津川は国が管理する1級河川を対象にした水質調査で、2010～13年に4年連続で日本一となった。田原修会長は「水に親しむことで自然環境保護、水質浄化について考えてもらえれば幸いだ」と話した。

清流高津川は国が管理する1級河川を対象にした水質調査で、2010～13年に4年連続で日本一となった。田原修会長は「水に親しむことで自然環境保護、水質浄化について考えてもらえれば幸いだ」と話した。

